

## ★ 男子新体操 ★

- 日本発祥の競技
- 1946年 第1回国民体育大会（京都）にて「団体徒手体操」をデモンストレーション形式で演技を披露。翌年、第2回国民体育大会（石川）で初めて「団体徒手体操」の名称で実施した。
- 競技方法は「団体競技」と「個人競技」に分かれている。

「**団体競技**」・・・手具を持たない“徒手体操（跳躍、バランス、柔軟、倒立の静止技など”と“転回系（タンブリングや組運動）”で構成され、体操競技と同じ床フロアで競技する。転回系には組運動とタンブリングの2つの要素がある。  
演技時間は2分45秒～3分。

「**個人競技**」・・・スティック、リング、ロープ、クラブの4手具を用い演技を行う。  
手具の特性を生かした巧みな手具操作や転回形の組み合わせた構成。  
演技時間は1分15秒～1分30秒



スティック…サイズ長さ90cm、径2.65cm、重さ200g以上、素材：木



リング…サイズ内径41cm、重さ300g以上、  
素材：芯／ポリエチレン、表面／ウレタン



ロープ…サイズ長さ3m（個人で合わせる）、素材：麻、ナイロン



クラブ…サイズ高さ44cm、重さ200g以上、  
素材：頭部・胴体／木、発砲ウレタン加工

### ◆大会への出場制限◆（日本体操協会主催大会）

ユースチャンピオンシップ（個人競技）…個人中学2年生～高校3年生まで。＊

団体選手権（団体競技）…小学4年生～高校3年生までの混合チーム。＊

全日本ジュニア新体操選手権（団体・個人競技）…個人、団体ともに小学4年生～中学3年生まで※

全日本新体操選手権（団体・個人競技）…個人、団体ともに小学4年生以上。※

※予選会あり、＊予選会なく出場可能